

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

幹旋物資……最終仕入原価法によっております。

貯蔵品……最終仕入原価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……定率法によっております。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金……支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しております。

退職給付引当金……職員退職金規程による期末の自己都合要支給額を計上しております。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	4,757,160	500,469	0	5,257,629
災害支援事業引当預金	10,227,450	1,000,093	200,000	11,027,543
創立50周年記念事業預金	1,000,106	500,086	0	1,500,192
合 計	15,984,716	2,000,648	200,000	17,785,364

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当預金	5,257,629	0	(900,649)	(4,356,980)
災害支援事業引当預金	11,027,543	0	(11,027,543)	—
創立50周年記念事業預金	1,500,192	0	(1,500,192)	—
合 計	17,785,364	0	(13,428,384)	(4,356,980)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	6,780,000	6,779,997	3

附属明細書

1. 特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しております。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	673,500	894,000	673,500	0	894,000
退職給付引当金	3,038,660	1,318,320	0	0	4,356,980